

第5回 羽村市まち・ひと・しごと創生計画懇談会 グループディスカッション

2016/03/17 201・202会議室

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金活用事業について

グループ	懇談会での発表(要約)
<p>①高橋委員、 寺島委員、 山本(哲)委員、 清水委員、 折原委員</p>	<p><地域資源を活用した商業・観光振興事業および若者地域活性化事業> ・国からの助成金がなくなった時に、事業が定着しているか。⇒NPO法人、ボランティア等だけでは継続は難しい。地域の人が「地域のため」という考えで取り組むことが大事。 <産業力・創業力強化支援事業 創業支援事業> ・市が率先するのではなく、各団体が連携したり、NPO法人を立ち上げたり、アウトソーシングも必要。</p>
<p>②井手委員、 岡委員、 宇津木委員、 伊藤委員</p>	<p><地域資源を活用した商業・観光振興事業および若者地域活性化事業> ・継続のためにも、費用対効果の分析と検証が必要。 ・婚活パーティーのノウハウをさらに発展させ、ひとつの特徴とする。 ・婚活パーティーのカップル成立者を継続支援し、定住につなげられるようにする。 <児童放課後サポート事業> ・想定していた利用者数10名より、実際の利用者数24名のズレが発生している。しっかりとした把握が必要。 <はむらスタイルの策定・発信事業> ・雑誌掲載広告に「はむらスタイル」で検索とあるが、ビジュアルイメージを示したほうがよい。 <ウェルカムベビークーポン券発行事業> ・クーポン券利用店には、タバコやお酒、スナックなどがある。子ども用品店やドラッグストアなどで利用できるほうがよい。プレミアム商品券利用店との分離もできたのではないか。 <産業力・創業力強化支援事業 ICT活用販路開拓事業助成金> ・未利用地情報管理システムの構築とは、不動産で公表されている情報とは別に構築するのか。</p>
<p>③大和田委員、 田嶋委員、 渋谷委員、 小林委員</p>	<p><地域資源を活用した商業・観光振興事業および若者地域活性化事業> ・婚活パーティーは若者限定でなくてもよいのではないか。継続し、同様の経済効果を得るには、振り返りと肉付けの検証が必要。 <妊娠・出産・子育て包括支援拠点の設置準備事業> ・カルテの一元化により、サービスの漏れがなくなり、子育て世代には安心できる。 ・子育てを終えた保護者の就労支援があるといい。 <はむらスタイルの策定・発信事業> ・雑誌掲載広告に、もっと子育て支援のアピールをしてもいい。具体的に子育て手当の助成金、包括支援などがあることを示してもいいのではないか。 ・妊婦向けの雑誌に広告を掲載するのではなく、乳児以上の子どもがいる年齢層にもアピールが必要。 <産業力・創業力強化支援事業 創業支援事業> ・iサロンに配置されている専門家は相談内容とマッチしているか。工業と商業では相談内容が違う。</p>